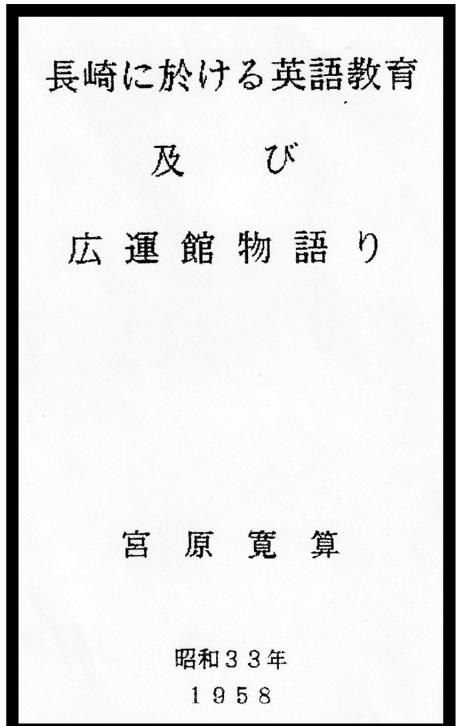
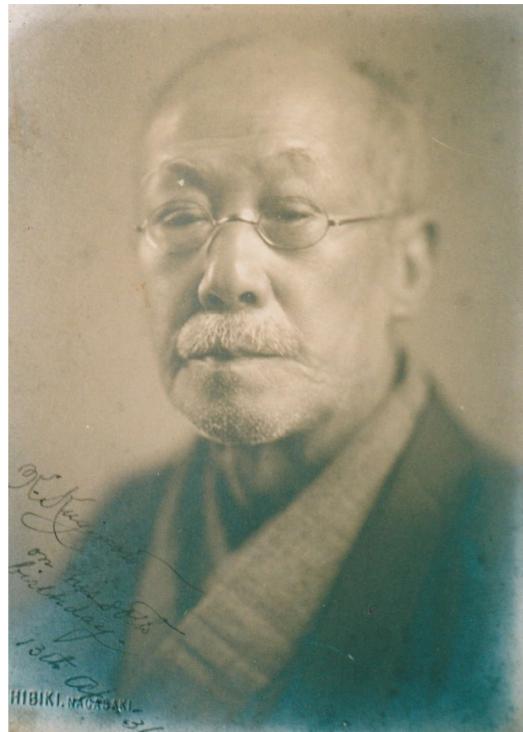


長崎における釘本家の足跡



1958年（昭和33年）9月17日 NHK第一放送
「長崎の手紙」放送



釘本小八郎



語学の界の先駆者・小本釘

畠 历
先生は安政四年四月長崎市磨屋町の醫家に生れられた。嚴父は早逝されたが先生は夙に九才の時より當時の會所に通つて和蘭陀語を習ひ始められ後に濟美館さへ運館と改名された其處で和蘭陀人から英語を習得されたのである。先生の英語は和蘭陀語のアクセントがあつたといはれるのはその爲である。

廣運学校（以前立山の中學校）が明治九年英語學校と改名された時全校に補助教師となり物價が現在の十分の一位だった其頃二十五圓を給せられ長崎での高給者の上位であつたこの事である。

明治十年は廢校され明治十二年頃縣立外國語學校創立せらるゝや全校に教師となり明治十九年今校も亦廢校され初めて長崎中學校が生れたのである。

開校と同時に先生は生後から教鞭を執る事となつたが明治二十年一時退職され東山學院に轉せられた。其翌年文部省から試験官定め英語教師證書が來たのである。

中學（現長崎中學校の前身）に教員となされた爾來大正二年に教諭は辞められたが引き続き託託として昭和二年まで教鞭を執つて何千いふ許多の弟子を導いたのである。現在は以前長中の講師であつたランバッタ先生と共に過信講習所に教授として壯者が凌ぐ元氣なもつて育英の事に勵精せられてゐる。





鎮西大社 諏訪神社



白石町 陽興寺



あや
(長女)
昌光
(長男)
フミ
(小八郎妻)
小八郎
継母



あや
あやの夫
昌光
昌二 (三兄弟)



釤本つなよ・昌光・小八郎
(母) (岳父) (祖父)

(釤本家・母方家系)



釤本昌二 (母方の叔父)
1885 (明治18年) ~1961 (昭和36年)

勅任官
(旧東京大学・コーネル大卒)